

4 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

○ 所長の横村でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故から 2 年以上経過した今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑をおかけし続けておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

また、先般、福島第一原子力発電所において、所内電源の停止事故や、地下貯水槽から汚染水が漏れる事故も発生しており、この件につきましても大変なご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを重ねてお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは 3 点お話しさせていただきます。

○ まずは、原子力安全改革プランについてです。

当社は、先月末に「原子力安全改革プラン」を取りまとめ、公表させていただきました。この「原子力安全改革プラン」における「経営層からの改革」、「経営層への監視・支援強化」、「深層防護提案力の強化」、「リスクコミュニケーション活動の充実」、「緊急時組織の改編」、「平常時の発電所組織の見直しと直営技術力強化」の六つの対策について、着実に取り組んでまいります。

具体的には、発電所の組織として、原子力安全センターを新たに設け原子力安全に関する俯瞰機能を強化すること、直営工事を行う発電員、保全員を編成し当社社員の直営技術力を強化していくこと、加えて、リスクコミュニケーターを配置し、社会目線に基づくリスク認識や日常のコミュニケーション活動による対話スキルの養成を図っていくことなどの改革を行ってまいります。

○ 次に、当発電所の安全対策に関する主な取り組み状況についてです。

1～4号機の原子炉建屋周辺の防潮壁や、開閉所の防潮壁につきましては、先月末までに完成いたしました。1～4号機側の防潮堤の工事は、約8割の進捗率で、当初の予定通り今年6月の完成に向け、順調に工事を進めております。

また、事故時に原子炉格納容器の密閉性をより向上させるため原子炉格納容器頂部に水を張る設備の設置工事は、7号機にて4月1日より開始いたしました。加えて、原子炉建屋最上階に、水素が漏えいした場合にこれを除去する設備の設置工事を来週より1号機、7号機から順次開始してまいります。

発電所の安全対策は継続中ですが、防潮壁などの比較的規模の大きな工事が完了する中、発電所で働かれていますの方々の人数については若干の減少傾向が見られております。今後も新たな安全対策工事等を継続して行うことにより、地域の皆さまへのご迷惑を少しでも軽減できればと考えております。

○ 最後に、ボーリング調査の評価結果の公表についてです。

昨年10月、発電所敷地内外においてボーリングを開始し、発電所敷地内の断層に係る地層の年代評価を進めているところですが、現在、最終的な取りまとめを行っております。評価結果につきましては、今月中に取りまとめ、公表できる予定です。

○ 本日、私からは以上です。

以 上